# 流域治水及び流域治水プロジェクトの広報について











農林水産省 林野庁







気象庁

芦田川流域治水協議会 事務局 (福山河川国道事務所)



令和7年6月

### 流域治水及び流域治水プロジェクトの広報について ―――















- ■R6.1.30担当者会議において、「「流域治水」という言葉が地域に浸透していない。ことある毎にテレビで発信する必要がある。」 とのご意見をいただいており、今後、地域の皆様への積極的な広報が重要。
- ■現在も、流域治水協議会の各機関において、流域治水や防災について防災教育や防災講座、ラジオ放送、イベントのパネル 展示等を通じて広報を実施しているが、地域住民の行動に繋がる「自分事化」の推進を目指して、流域治水協議会として、より 効果的な広報について取り組んで行くことが必要。

#### 現在の取組状況

#### 防災教育(福山市)



ライフライン防災教室

#### 防災知識の普及(府中市)



防災知識の普及

#### 防災講座(世羅町)



世羅町防災講座(広島県、各地区自主防災会、防災士会等の関係者対象)

#### ラジオ放送

FM放送を通じて、リアルタイ ムで流域治水に関する情報を多 数の住民に提供でき、流域の安 全・安心に寄与することができ る。



### イベントパネル展示



JFEみんなの防災 (R6. 10. 17, 18)



福山港まつり (R6.11.9,10)

1 %

















# 自分事化の推進

一 人々に行動を促す

話題に触れたり、情報開示の必要性が高まっている今、水災害の意識の高まりを実際の 行動につなげていく「自分事化」を推進。認知と行動のギャップを埋めていく。



個

防災教育、SDGsの学習、 水災害のニュースに触れ る等、年齢に応じて知る の機会は相応にある。

企業・団体

工業団地の被災のニュース、TCFD等情報開示の枠組み、ESGの取組など知るの機会は相応にある。

# 「自分事化」が課題

行動につなげていく上で、理解を 深める機会や、インセンティブが どう働くか? 平常時、災害時の両方で多様な取組メニューがある。大雨時のリスク情報も拡充してきている。

BCP策定、自営水防、地域との連携、流域の視点での取組の拡大など、取組メニューは相応にある。

#### ※認知と行動のギャップ

防災・減災が個人が自ら 関わりたいと思う課題で ある一方、実践や対策、 他者の巻き込みには至っ ていない社会状況があ る。



参考: 第4回「クオリ ティ・オブ・ソサ エティ年次調査」 (電通総研)

# 自分事化の推進













# きっかけづくりの推進

施策を進める上での考え方と、自分事化の機会創出に向けた施策(行政からの働きかけ)。

考え方と施策

# サポートとルール

自発的な取組を促しつつ、 強制力を伴う施策で全員参加 発的な取得

発的な取組を 促す施策 補助金

表彰等、 普及啓発 一定の強制力を伴う施策

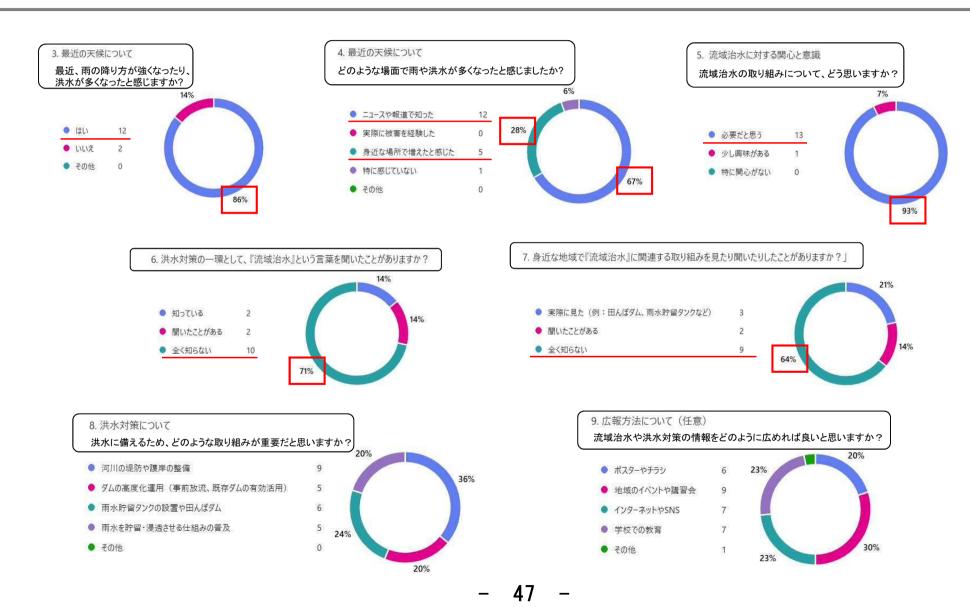
要件化 基準化

規制 (検査) 罰則 (摘発)



# 流域治水に関するアンケート結果

- ■R7.2ゆめフェスタの福山河川国道事務所ブースにおいて、「流域治水」の認知度・関心や洪水対策への意識、広報方法についてアンケートを行った。
  - →近年の大雨や流域治水の取り組みの重要性については理解していただいているが、流域治水の取組については<mark>認知度が不十分</mark>という結果となった。



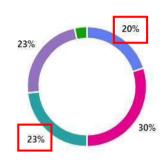
## 流域治水の広報について

- ■今後の広報について、アンケート結果9から今後の動きについて対策を考える。
- ■最も多い「地域のイベントや講習会」や同率2番目の「学校での教育」については、現在の取り組みを引き続き継続する。
- ■次いで多い「ポスターやチラシ」・「インターネットやSNS」について、今後流域治水協議会において広報活動を行う。 今後の広報活動案として、自治体広報誌との連携、流域治水広報チラシの配布・webサイト掲載,、SNSでの発信を検討しているため、ご協力 をお願いしたい。

#### 9. 広報方法について

流域治水や洪水対策の情報をどのように広めれば良いと思いますか?





# 今後の広報活動案









自治体広報誌との連携

・本紙にスペースを頂き、流域治水の取り 組みについて掲載し、少しでも多くの方に 「流域治水」の名称を覚えてもらう。



流域治水広報チラシの配布・webサイト掲載

・小学校や地元公民館、各機関HP等に掲載し 「流域治水の自分ごと」に繋がる広報活動を行う。 出前講座等の活動についても同時に周知が可能。



#### SNSでの発信

・継続的に川の防災情報・キキクル・他流域治水の取り 組み内容の発信や関係機関の投稿をリポストすることで 不特定多数への周知が可能。

# 始めよう!流域治水の「自分ごと」

「流域治水」がみんなを救う、みんなで救う



という言葉を聞いた ことがありますか?近年では、短い時間に大雨 が降って川が溢れたり土砂が流れるなど、日本 全国で大きな災害が増えています。

いつ起こるか分からない災害に向けて、家族や 近所の人や友達と一緒になって取り組むのが が 「流域治水」

小さなことからはじめて、みんなで災害から命 を守りましょう!

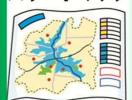
## みんなで守るみんなの命 ~ 「流域治水」の3つのステップ~



あなたが暮らす町は どんな災害が起こり やすいか知る



## ハザードマップ



- (1)知る
- ・防災イベントに参加
- ・インフラツーリズム





- ・防災グッズの準備
- ・マイ<u>タイムライン</u>を作る
  - ②自分ごと





自分の命を守るための 行動を考える



#### 芦田川流域での取り組み

芦田川流域では住民のみなさまが気軽に流域治水に取り組めるよう、広島県・ 福山市・府中市・世羅町等、多くの関係機関が様々な施策を進めています。

#### LstVばんせっち 止水板設置・住宅嵩上げ補助

建物の中に水が浸入することを防ぐ止水板の設置や、住宅の嵩上げ工事を行うときに費用の一部を補助する制度があります。



## キキクル、川の防災情報

河川やダム、雨の状況などスマホで ウッッラ៶ッ
流域の情報がわかります。





# 防災教育

災害に対する心構えと避難に関する知識を養うための防災教育を行っています。

### 

連絡先:流域治水協議会事務局

TEL:084-923-2620(代表)

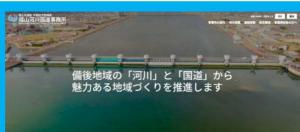


流域治水協議会 ←HPはこちら









るくやまかせんこくどうじむしょ その他、福山河川国道事務所ホームページにて、芦田川での流域治水に役立つ様々な情報を掲載しています。





### 全国流域治水マップの紹介





「全国流域治水マップ」は行政、民間企業だけでなく個人の方の流域治水に関する取り組みを共有できるプラットフォームです。川や水辺の情報も掲載しています。

## 出前講座の掲載(案)

- ■防災学習の機会の提供に向けて、芦田川流域治水協議会のwebサイトに各機関で取り組まれている既存の防災関係の出前講座などを掲載する案を検討中。
- ■芦田川流域治水協議会ウェブサイト

